

事務事業名	居宅介護サービス計画給付事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	介護保険法
政策名	07	社会保障システムの充実と健全な運営	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課	介護保険 係(グループ)
施策名	20	介護保険制度の充実	課長名	江口 口子	担当者名 武藤宏樹 (内 576)
基本事業名			予算科目	会計 4 款 2 項 1 目 3 事業	070613居宅介護サービス計画給付事務
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 12 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 居宅介護認定者の依頼を受けて、居宅介護支援事業所が、要介護認定者が利用する指定居宅サービス内容等を定めた居宅サービス計画を作成した場合に、居宅介護サービス計画費を支給する。	全体計画	(単位:千円)
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計(A)	
	人件費	
正規職員従事人数		
人件費計(B)		
総計	総計(A)+(B)	

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 <small>居宅介護認定者が、居宅介護サービス計画作成届出書を町へ提出し、町は、居宅介護支援事業所へ連絡する。居宅介護支援事業所は、サービス利用者の希望に沿った居宅介護サービス計画書を作成する。居宅介護支援事業所は居宅介護サービス計画費を国保連合会に請求する。国保連合会で審査後、町に支払請求があり、国保連合会に支払う。</small>	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 居宅介護サービス計画作成件数 件 イ ウ
17年度計画 同上	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 居宅介護サービス計画を作成した居宅介護支援事業所	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 居宅介護サービス利用者 人 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 居宅介護サービス計画費の適切な給付手続きを行う。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 居宅介護サービス計画費総給付額 千円 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 居宅介護サービスを利用するためのサービス計画の作成を支援することにより、利用者本人の事務手続きの負担軽減につながる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 居宅介護サービス利用者の在宅生活援助 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	
投入量	事業費	千円	12,048	14,964	15,358	15,384			
	特定財源	千円							
	一般財源	千円	2,613	3,099	3,080	3,248			
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	14,661	18,063	18,438	18,632	0	0	0
	人件費	人	2	2	2	2			
正規職員従事人数	年間			0.0011					
人件費計(B)	千円	0	0	10	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	14,661	18,063	18,448	18,632	0	0	0	
活動指標	ア 件	1,979	2,203	2,166	2,192				
対象指標	ア 人	181	184	213	247				
成果指標	ア 千円	14,661	18,063	18,438	18,632				
上位成果指標	ア								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 平成12年度に介護保険制度がスタートし、その一環として居宅介護サービス計画費の給付が開始された。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 高齢化の進行に伴って、サービス利用者が拡大し、その結果給付費が増加している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↘	本サービスの適正な給付事務は健全な運営等の政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↘	介護保険の制度上、給付費の一部を税(一般会計からの繰入)で負担することが法定事項とされているため。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘	本サービスの対象は制度で定められているため、拡大や縮小の余地なし。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↘	法定事務のため
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 ↘ 3 改革・改善方向の部へ	本サービスは制度に基づいた事務事業のため、廃止や休止はない。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↘ [理由]	介護保険の制度の一環のため、統廃合の余地なし。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↘ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↘ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↘ 【問題解決策】 ↘ 3 改革・改善方向の部へ	本サービスは法定により給付単価が設定されているため、事業費の削減の余地なし。
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↘	電算処理が多く削減余地なし。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↘	本サービスの負担割合は制度化されているため適正化を図る余地なし。

3 改革・改善方向の部(PLAN)																						
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？